

井草八幡宮

みどり探訪

杉並区の北西部、善福寺に鎮座する井草八幡宮は、古くから地域に親しまれてきた神社です。創建から900年以上といわれ、源頼朝、太田道灌、徳川家、今川氏との関わりなども伝わっています。今回は、都内でも有数の広さを誇る井草八幡神社の緑がテーマです。

青梅街道沿いの大鳥居。その奥に東参道が延びています。



東参道

東参道はゆったりと広く、両側にウバメガシの垣根が整えられ、その奥にはイチヨウ、クスノキ、シラカシ、イロハモミジ、ケヤキなどの大木がうっそうと200メートルほど続きます。鳥の声、風の音が聞こえてくる静かな道です。



本殿前

本殿前の内庭には、イチヨウクスノキ、マキなどが立ち



東参道を右に折れた左手に楼門があり、ここを抜けて本殿にむかいます。

